

## 地球温暖化問題

### 地球温暖化問題とは

新聞報道によると、90年代に入ってから、地球規模の異常気象が顕著になってきているそうです。最近の夏の猛暑や冬の温暖化はこの異常気象が原因とのこと。これが自然条件の変化を引き起こし、いずれは人間が住みにくい世界になるかもしれないそうです。

異常気象の原因は、人間の日常生活や産業活動で発生させる二酸化炭素が増加することで、本来拡散すべき地球上の熱がこもってしまい、地球が温暖化されていると言われています。

### ひとりひとりができることは

二酸化炭素を必要以上に発生させないようにすれば、地球温暖化の進行が防げます。日常生活や就業活動でできることは何でしょうか。

#### ☆ 日常生活

普段の何気ないことですが、出来ることがたくさんあります

- ・水道 節水に心掛ける
- ・電気 電気をこまめに切り、節電に心掛ける
- ・ガス 節ガスに心掛ける
- ・車 近くに行く際には、車を使わずに徒歩や自転車を使う
- ・買い物 マイバッグを持参し、レジ袋をもらわない



#### ☆ 就業活動

環境に配慮することが、就業の質を向上させることにも繋がります。

- ・剪定・除草 剪定で出る枝葉や除草で出る草を燃やさずに堆肥化する。
- ・清掃 出たごみは、分別することによりリサイクルを促進する。
- ・車の運転 エコドライブ アクセルを必要以上にふかせない。
- ・作業手順の確認 作業の無駄を省く ※
- ・物品の整理整頓 作業をスムーズに行なう秘訣 ※
- ・作業道具の点検 道具を常に最適な状態に保つ ※

※ 結果的に就業に必要な燃料の消費や道具の磨耗を抑える。



### センターとして取り組むことは

センターでは、SP(シニアワークプログラム)事業の堆肥講習会を経て堆肥化事業について研究してきました。今年度は精華町リサイクル事業の一環として、除草により発生する草を堆肥化する事業を行います。

#### ☆ 目標設定

- (1) 地球温暖化対策として「初年度二酸化炭素20トン削減」を目標に焼却処分を廃止する。
- (2) 「ゴミの減量化推進」焼却ゴミ15トン削減する。
- (3) 就業機会の創設
  - ア 就業会員の確保、環境対策員として新たに会員7名を確保
  - イ 就業延人員数 112人日

#### ☆ 事業展望

精華町と共に剪定枝葉や草を「堆肥」として「緑のリサイクル事業を目指して」の環境対策に取り組みます。出来上がった堆肥は、精華町で毎年11月に実施される「せいか祭り」で参加者に無償配布をするとともに、華工房の会員とともに研究していきます。昨年の「せいか祭り」では、センターで作った堆肥は精華町環境ネットワーク会議のブースからも配布され、センターのピーアールに一役買ってくれました。

「緑のリサイクル事業」は、精華町で育った枝葉を緑の再生産の源として大地に戻すという地球環境にやさしい事業なのです。

今年度から、独自事業としてシルバー事業の一翼をになえるよう鋭意取り組んでいきます。